

# クラウドサービス導入応援プロジェクト

---



## 導入事例集

令和7年度大分県中小企業デジタルスキル向上支援事業  
大分県 商工観光労働部 先端技術挑戦課

# レジュメ

## 01 事業概要

## 02 申請・採択数

## 03 事例紹介

- 鶴崎林商運輸株式会社[運輸業] 導入ツール：Touch De Schedule
- 藤栄建設株式会社[建設業] 導入ツール：RevSIGN
- 株式会社小森建設[建設業] 導入ツール：給与奉行クラウド
- 株式会社おおいた姫島[サービス業] 導入ツール：bixid
- 山の上デザイン株式会社[学術研究・専門・サービス業] 導入ツール：Notion
- 医療法人宮原レディースクリニック[医療・福祉業] 導入ツール：レセプトソフトORCA
- 株式会社LapisLazuli[医療・福祉業] 導入ツール：LITALICO発達ナビ
- 合同会社かなえる[医療・福祉業] 導入ツール：kintone

# 事業概要

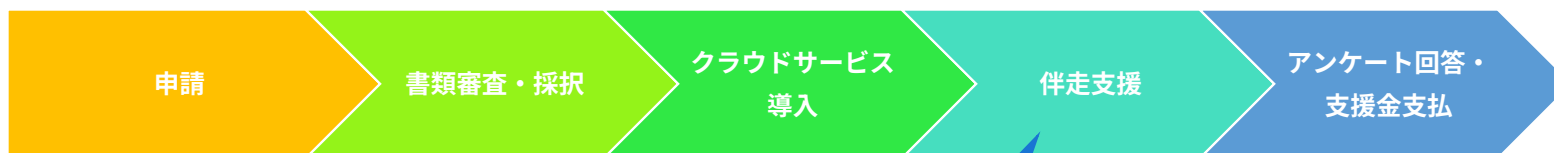
本事業の申請時に「自社の思い描く理想の会社や社員の姿（会社のビジョン）」「現状の悩みや課題」「人材育成計画」をお考えいただき、その申請内容を基に事業を進めます。またツールを使いこなしデジタルスキルを向上させていくための支援である「伴走支援」の実施が本事業の大きな特徴です。

## 対象事業者

大分県内に事業所を有する中小企業・小規模事業者

## 支援内容

- クラウドサービス導入に関する費用支援  
※1社25万円(税込)まで、導入～2026年3月末までに発生した費用
- クラウドサービス導入後の「伴走支援」 全2回



## 伴走支援とは？

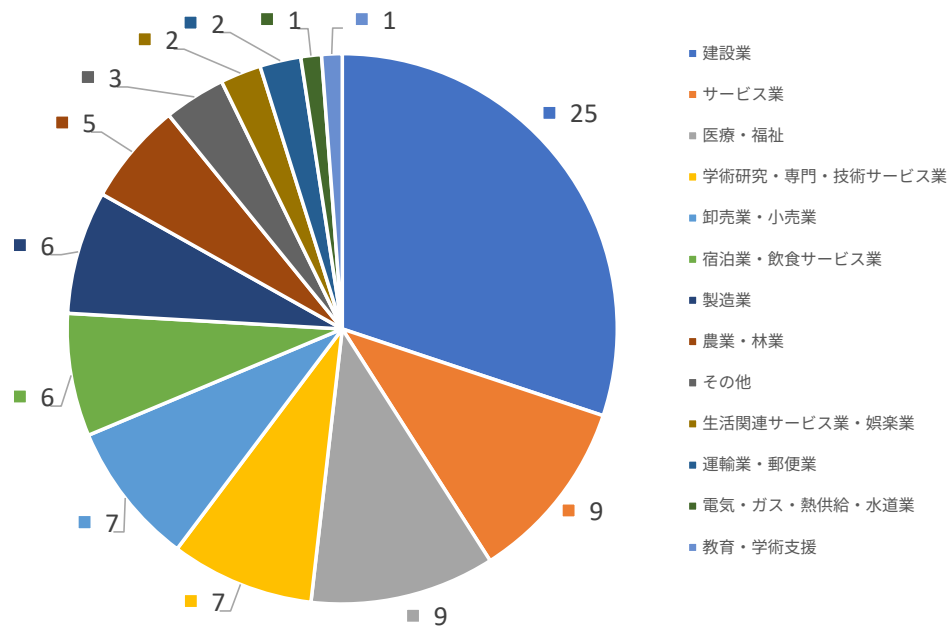
申請内容を基に、採択事業者の環境に合わせて、デジタルスキルの向上を目的としたスキルアップ支援を行います。

# 申請・採択数

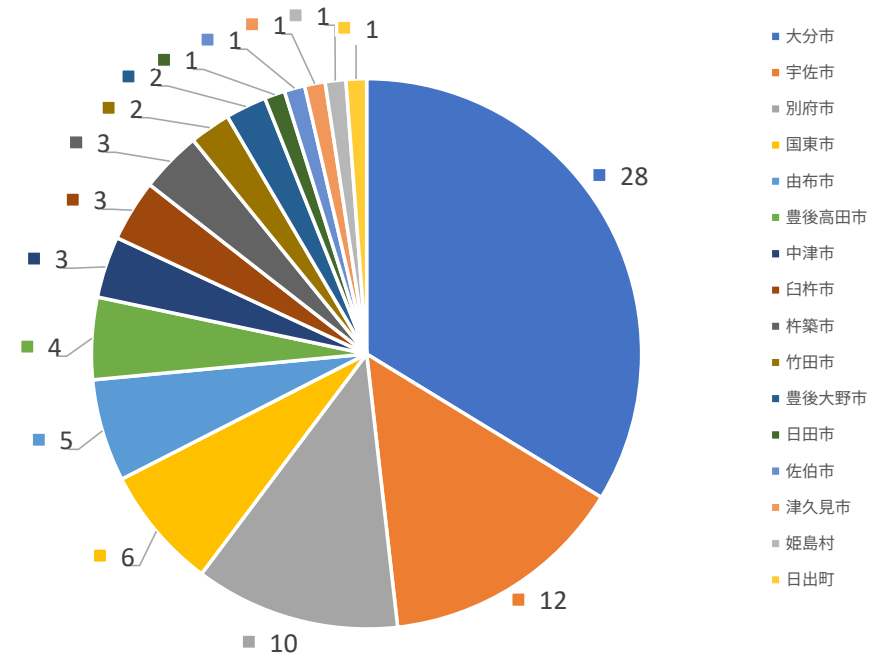
## 集計内容

採択及び支援数：83社(申請数：94社)

業種別支援数



市町村別支援数



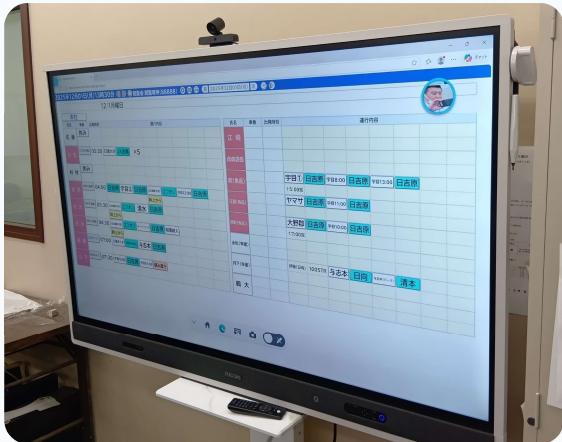
# 事例紹介

---

代表者 石樽 誠二  
所在地 大分市  
事業内容 木材チップの卸売・輸送・  
製造・日本郵便輸送

## VOICE

管理者の負荷が大きい作業に対して、デジタル製品で軽減したいと考えた。結果として利用者全体の負荷軽減に繋がり、作業ミスが少なくなった。



## 01 ビジョン

配送業務の見える化と業務の効率化

## 02 課題

- 工程管理は紙への記入や口頭で伝えており、運転手や他部署まで情報が把握できていない
- 社員の高齢化や突然の退職などもあり、引継ぎが大変
- 管理職が若手職員や部署異動した社員へ配送業務を教えると管理職の仕事まで手が回らなくなり、全体の仕事に支障が出てくる

## 03 支援内容

- 行動予定表サイネージによる配送の見える化 (Touch DE Schedule)
- 業務フローに沿った操作指導及び運用支援 (スケジュール登録・社員間での確認方法など)

## 04 支援の成果

属人化していた配送の工程管理が、管理者の経験値や、現場の状況報告やレスポンスをリアルタイムで共有できるようになったため円滑な業務を実施することが可能になった。

▲ 0.5h/日 工程作成

円滑化 お客様の対応

代表者 近藤 弘幸

所在地 佐伯市

事業内容 総合建設

## VOICE

新入社員にデジタルに明るい会社であるという認識を持ってもらうことができた実感。デジタル製品に投資することで若手の育成や情報共有が実施しやすくなった。



## 01 ビジョン

現場と事務所における情報共有の円滑化を図りたい

## 02 課題

- 建設業全体で人材確保が難しく、現場代理人や技術職の不足が深刻になっている
- 若手社員を育成したいが、現場業務が多忙のため、教育時間を確保できていない
- デジタルツールが多すぎてどのツールが「実際に使いやすいか」や「業務効率化に直結するのか」等の費用対効果がわかりにくい

## 03 支援内容

- 情報共有システムによる情報共有のデジタル化 (RevSIGN)
- 情報共有システムの導入支援
- 業務効率化を図るツールの運用支援 (情報共有、社内日報、ワークフロー)

## 04 支援の成果

打合せがWebで、資料も電子共有が可能になり、自社社員は勿論のこと共有先の負担も減り、情報共有が円滑になった。

**80分減** 移動時間

**円滑化** 情報共有

代表者 小森 貴洋  
所在地 宇佐市  
事業内容 土木工事・とび・管工事・  
舗装工事・水道施設工事

## VOICE

今回の取り組みをきっかけに、今後も段階的にデジタル化を進め、より働きやすい環境づくりに取り組んでいきたい。



## 01 ビジョン

給与業務における集計の自動化

## 02 課題

- どこからデジタル化に着手すべきか判断するための情報収集に時間が割けない
- 自社業務の効率化に適したサービスの選定が困難
- 社内のIT人材が不足している

## 03 支援内容

- 給与業務のクラウド化による業務の効率化（OBC 給与奉行クラウド）
- 給与ソフトクラウドの導入支援
- 給与ソフトの環境構築や基本設定

## 04 支援の成果

給与計算業務における「効率化」「正確性向上」「負担軽減」「コンプライアンス強化」といった複数の側面で改善、継続的で安定した給与業務運営が可能となった。

**時短** 業務効率向上

**削減** 計算ミス

代表者 小岩 直和  
所在地 姫島村  
事業内容 飲食・農水産物の生産加工販売  
飲食事業

## VOICE

デジタル化に取り組んだことで、単なる「作業の効率化」だけでなく、経営を強くするための時間の使い方ができると実感した。



## 01 ビジョン

経営情報のデジタル化及び利活用

### 02 課題

- ・月次の締めや集計が遅く、部門・商品別の利益が把握できていない
- ・指標(KPI)が未整備で、何を伸ばしどこを削るか等の基準がない
- ・資金の見通しが弱く、入出金のズレや在庫増を早くつかめず、対応が遅れる
- ・ルールの統一ができておらず、科目や部門コード、費用の割り振り(配賦)がバラバラで手作業が多い

### 03 支援内容

- ・経営情報の見える化による業務の効率化  
(経営支援クラウド bixid)
- ・給与ソフトクラウドの導入支援
- ・他業務のデジタル化・情報の一元管理を見据えた同業種の事例紹介および生成AIに関する講習

### 04 支援の成果

手作業だった集計業務にかかる時間が短縮・自動化され、月毎の経営数字がすぐに「見える化」された。お金の流れや在庫の状況をリアルタイムで把握できるようになったため、数字に基づいた素早い経営判断が可能になった。

見える化 経営数字

大幅減 事務作業時間

代表者 瀬井 啓  
所在地 大分市  
事業内容 デザイン・イラスト制作

## VOICE

導入したツールを利用することで、高い拡張性を実感した。将来的な業務範囲の拡大や新たな着想の実現にもつながると感じている。



## 01 ビジョン

チーム全体の生産性を高めるデジタル環境の基盤づくりを行いたい

## 02 課題

- 紙や口頭、個人単位のメモで管理をしていたため、案件の工数や進捗状況が把握できていなかった
- 作業量や納期の見通しが曖昧で、人的リソースの最適配分やスケジュール調整が困難だった
- 属人的な管理体制により、業務効率が低下していた

## 03 支援内容

- オールインワンワークスペースを活用した情報の共有化(Notion)
- ツール導入後の進捗の確認
- 今後の社内DX化に関する展望についてディスカッション、事例紹介

## 04 支援の成果

今まで煩雑に管理していた案件毎の議事録・進捗状況・予定等の情報を一元管理できるようになり、タスク管理の効率化が進み、案件の進捗管理が可視化された。

0往復 日程調整

一元化 案件進捗確認

代表者 宮原 英二  
所在地 日田市  
事業内容 産婦人科として、女性のライフスタイルに合わせた診療を提供

## VOICE

今後も様々なサービス(特に生成AIなど)をうまく活用し、患者の皆様により温かみや親しみをもって医療を提供していきたい。



## 01 ビジョン

会計処理時間の短縮で捻出した時間を利用し、従業員の働きやすい環境を整える

## 02 課題

- ・診療報酬請求業務に関する業務負担が大きい
- ・法改正への対応や、従業員への教育が追い付かない
- ・事務内での相違・創造・発展の土壌が醸成されていない

## 03 支援内容

- ・レセプトクラウドサービスによる請求業務の効率化(日医標準レセプトソフトORCA WEB版)
- ・情報リテラシー向上を目的とした講習、他業務のデジタル化を見据えた生成AIに関する講習

## 04 支援の成果

請求業務のミスが削減されたことによるストレスの軽減および他業務への意識が改善された。

**ミス減** 請求業務

**ゆとり創出** 他業務に対して

代表者 後藤 真哉  
所在地 大分市  
事業内容 放課後等デイサービスの運営

## VOICE

今後は導入したクラウドサービスに付随している機能を用いて、業務に必要なスキルの定着やスタッフの育成にも取り組んでいきたい。



## 01 ビジョン

請求業務を一元化、業務効率化により捻出した時間で児童への支援の向上

## 02 課題

- ・他事業者との競争が激しく、差別化を図らないと人材確保が難しい
- ・児童の特性を紙ベースの書類で管理しているため、一元管理ができていない
- ・人材育成が属人的になっており、体系的な育成・指導ができていない

## 03 支援内容

- ・児童福祉業界・放課後デイサービスの経営支援サービスによる業務の効率化  
(LITALICO発達ナビ 人材採用・育成プラン)
- ・導入したクラウドサービスの利用を定着させるための支援  
(システムの利活用事例紹介、運用ルール作成支援)

## 04 支援の成果

- ・利用者情報の入力作業時間の削減
- ・煩雑になっていた利用者情報の一元化
- ・情報照会にかかっていた時間の効率化

**10h減** 毎月の残業時間

**0.5h減** 入力作業時間

代表者 國廣 功  
所在地 別府市  
事業内容 障害福祉訪問介護

## VOICE

情報の安全性において安心して利用でき、コスト面についても満足している。また、業務で発生した無駄を削減することにより利用者への支援の質を向上することができた。



## 01 ビジョン

利用者のデータの一元管理と利用者支援のサービスの質向上を図りたい

## 02 課題

- 専用ソフトは利用者1人当たりの導入コストが高く、費用対効果が見合おうがわからない
- 手書きの書類やExcelで管理していることによる保管の問題や検索の煩雑化
- 個人情報の関係で持ち出しが出来ず、必要な情報や最新情報を電話で聞いたり事務所まで確認しに行かなければいけない

## 03 支援内容

- ノーコード業務アプリによる利用者のデータの一元化(kintone スタandardコース)
- kintoneの導入支援(アプリ作成、提案)
- アプリの作成、修正、運用方法についてレクチャー
- 利用する職員に向けて周知する情報の整理  
その他、アプリ作成の相談

## 04 支援の成果

1か月800件程の利用者支援をしており、1か月で約2,400件程の報告書をデータ化することで、紙の削減ができた。また利用者情報をリアルタイムに確認できるようになった。

**30h減** 利用者情報の確認時間

**80%減** 紙の削減率